

みんなの笑顔と歓声と元気が大集合！！

～マス釣り・子どもマスつかみ大会～

5月5日（日・こどもの日）午前8時から「マス釣り大会（西濃水産漁業協同組合安八支部主催）」、午後1時から保育園児、小学生を対象とした「子どもマスつかみ大会（同大会実行委員会主催）」が西結地内の中須川用水路で行われました。

両大会には、体長20cmを超えるマスが約5,000匹放流され、家族連れら約1,500人が楽しみました。

この大会は、子どもたちに用水路を利用した魚獲りや水遊びを通し、水に親しむ楽しさを知ってもらおうと毎年開催され、今年で15回目となります。



▲ 慎重につり針をマスにあわせる参加者たち（マス釣り大会）

当日は、晴天に恵まれ参加した子どもたちは、歩きなれない水の中で転んだり、服をびしょびしょに濡らしながら、元気いっぱいタモや素手で逃げるマスを夢中で捕まえました。

また、大人たちも童心に戻ったかのように子どもたちといっしょに楽しんでいました。

終了後、参加した子どもたちは、マスで一杯のバケツを手に「帰ってみんなで食べようね！」と、家族にうれしそうに見せている姿が見られ、水に親しむ楽しさを満喫していました。



▲ 足下を泳ぐマスに大興奮する子どもたち（子どもマスつかみ大会）



はやの あやめ
早野 文萌さん（名森小学校1年生）

マスつかみ大会では、たくさんの方たちといっしょに水の中でマスを追かけたことが楽しかったです。

来年も、絶対行きます！！

心温まる贈り物

～安八町赤十字奉仕団「独居老人励まし運動」～

5月13日（月）安八町赤十字奉仕団（梶井和子委員長）の皆さんが、町内の独り暮らしの老人に元気を出してもらおうと、タオルや手作りおはぎ、そして心温まるメッセージを届ける活動を行いました。

この運動は毎年実施、今回で24回目となります。

当日は、同会員による手作りのおはぎやきな粉餅がタオルといっしょに袋詰めされ、民生委員さんの協力により、町内独居老人宅93世帯に届けられました。

梶井委員長は、「受け取られた皆さんの心が少しでも温まっていたらうれしいですね」と、相手を気遣うような優しい表情で述べられました。



▲ 安八町赤十字奉仕団の皆さん（手前は独居老人宅への贈り物）